

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676800156
法人名	社会福祉法人 橋友会 グループホーム 南の家族
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志2丁目27番18号 (電話) 099-472-8485
自己評価作成日	平成22年5月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年6月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの意向を尊重しながら、居心地の良い環境作りをしている。また、季節の行事や、外食、ドライブを取り入れ楽しくハリのある生活が出来るよう取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・このホームは、多くの医療系施設と介護系の事業所の連携が充実した環境の中にあり、4階建て建物の1階が2ユニットのグループホームで、2～3階がケアハウスである。隣接したところに有料老人ホームや居宅介護事業所の施設がある。
- ・グループホームやケアハウスの職員の夜間勤務者は、夜勤開始前に一同に集まり、火災や避難に備えての確認を行っており、永年、一日も欠かさず実施している。
- ・訪問看護ステーションとの連携により、24時間連絡体制を確保している。
- ・常に利用者の尊厳を大切に、誇りやプライバシーを損なわないように、言葉かけや対応に配慮することを全職員が勉強会を行い共有している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の理念を作成し、毎朝のミーティングで唱和することで意識づけをし実践につなげている。	地域密着型としての理念「住み慣れた地域の中で、心の通い合う温もりのある家族を築きましょう」を掲げ、職員全員で理念を唱和・共有し、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭り見学など積極的に参加したり、事業所で行う行事に地域の方々を招待している。また、消防訓練には参加していただき交流をしている。	地域での行事や清掃活動・ボランティアによる演奏会や踊り・お釈迦祭り・スーパーマーケットのイベント等に積極的に参加したり、事業所での敬老会・夏祭りには、地域住民を招待し交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民の方々に事業所内会議に参加していただき、認知症の理解や接し方など伝えている。実習生も積極的に受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況や事業所の取り組みなど報告し、参加者からの意見、要望を受けたことに対して話し合いサービス向上に活かしている。	事業所の現状や行事等の取り組み・利用者の状況の報告などを行うとともに、非常時の対応として、災害時の連絡方法の仕方を話し合ったり、地区消防組合と意見交換を行い、具体的な意見を基にサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行事や会議に市町村担当者も参加してもらい事業所の考え方、運営や実情など報告している。また、情報提供を行い協力関係を築いている。	市の担当者に事業所の現状報告や書類上の確認事項等で話し合い、また、市の担当者もホームを訪れ、助言・指導を受けながら協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会により、毎月勉強会を開き職員に意識付けをしている。また、玄関など施錠せずに見守りなどを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設けており、毎月勉強会を開き、「高齢者虐待防止法」等を学び、全職員の共有認識を図っている。日中、玄関は施錠していない。職員の連携プレーで自由に生活できるように支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を開き、高齢者虐待防止法について学び理解することで遵守に向けた取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今のところ該当者はいないが、成年後見人制度の研修会で学んだことを勉強会で職員に説明し理解を深めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は重要事項内容を詳しく説明し、不安や疑問を尋ね納得や理解をしてもらい同意を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会や運営推進会議に家族、また、利用者代表が参加し、意見や疑問、要望など伝える機会を作っている、出された意見や要望など職員会議で話し合い日々のケアに活かしている。</p>	<p>家族の面会時や家族会・運営推進会議参加時において、家族等から意見や要望を気軽に言える雰囲気づくりに配慮している。利用者からは、お茶の時間や墓参りの時に聞いている。出された意見は、職員で検討しケアに活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月職員会議を開き、意見や要望提案など尋ねている。また、日頃からコミュニケーションを図り、いつでも聞けるようにしている。</p>	<p>毎月の職員会議時に職員から要望や意見を聞くようにしており、そこでの意見や要望を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は、勤務状況を把握し労働時間の調整などおこなっている。職員の疲労やストレスに気を配り親睦会の場を作り気分転換を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人外での研修には多くの職員が受講できるよう勧めている、研修報告は毎月の職員会議で報告している、法人内でも勉強会を行い職員の向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡協議会に加入し、研修などで管理者同士の交流がある。他のホームの見学や研修での事例検討等でお互いにサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で、生活状態や状況等を聞きとり、本人の気持ちなどを傾聴することで安心して生活が出来るよう努め、信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談により、家族が不安に思っている事や、要望など聞き対応できるように話し合い関係作りに努めている。。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談時、本人、家族の思いなど聞き、信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげていけるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有し、普段から生け花や料理、季節の食べ物など教えて頂き、お互いに支え合う関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子などホーム便りで家族に伝えたり、行事などに家族も参加してもらい、本人を支えていくための協力関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用しているスーパーと一緒に買い物に行ったり、知人がホームに遊びにきたりして、関係が途切れないようにしている。	入居者の自宅訪問や昔から利用しているスーパーマーケットや友人見舞いに職員も一緒に行ったり当法人主催の行事に友達等が訪ねて来るなどしており、関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の食事やお薬の時間など職員も一緒に入り、会話をし楽しくすごしている。また利用者同士お互いの部屋を尋ねたりできるように働きかけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移られても行事などに招待や、いつでも遊びに来てもらえるよう声かけしている。また、家族からの相談も支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の会話の中で思いや希望を聞いたり、表情や態度で把握するようにしている。困難な場合は家族に情報を得る様にしているが本心が聞き取れない。	日常の会話や表情などから希望や意向を察知するように努めている。また、お茶の時間や墓参り時に思いを聞いている。意思の疎通や表情からの把握が困難な場合は、家族の協力を得て支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談で、自宅に訪問し本人や家族から生活歴や生活環境など聞き把握している。また入居後も、以前の暮らし方など聞き、把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや記録等で一人一人の状態を伝え把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望を聞きながらアセスメントをとり、職員全員でカンファレンスを行い意見交換をしている。また、モニタリングにより、自分らしく暮らせるよう、介護計画を作成している。	入居者・家族等から思いや要望を把握して、それぞれの意見をプランに反映させている。また、モニタリングを行いながら、本人本位の介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事、水分量、排泄、入浴などチェック表に記載し、気づきや状態変化を個々のケア記録に記入している。毎朝のミーティングで情報を共有し実践や介護計画見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の家族の状況に応じて通院や送迎、訪問診療、訪問看護など必要な支援は柔軟に対応し個々の満足度を高めるよう努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の消防団や民生委員の方々と意見交換の機会を設け、利用者が安全に暮らせるよう協力を頂いている。また、ボランティアによる演奏会や踊りなどで地域と交流を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医や、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう支援している。また、訪問診療に来てもらうケースもあり医療機関と関係を密に結んでいる。	入居時に話し合いを行い、本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関での受診が受けられるように支援している。また、訪問診療を受けるなどの支援もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護資格を有する職員がおり、利用者の健康管理など行っている。また、訪問看護ステーションと連携を取り週1回の訪問、毎日状態確認で連携を取っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居時にはサマリーを作成し医療機関に情報を提供している。入院中は職員が頻回に訪問し、主治医と相談しながら回復状況を確認している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りの指針を定めて本人、家族の意向を踏まえながら、本人にとって、どうあったら良いかを医師、職員が話し合っている。急変した場合はすぐに対応していただけるよう医療機関や訪問看護師と連携を図り対応している。</p>	<p>「重度化対応・終末期ケア対応指針」を作成している。指針に沿って本人や家族等とも話し合い、職員も方針を共有している。訪問看護ステーションとの24時間連携体制をとり支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを作成し、全職員の周知徹底を図っている。また、職員の普通救命講習を3年置きに受講し、応急手当の勉強会を定期的に行い習得するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日勤時、夜勤時等の役割を把握し連絡網による人数確保、家族の協力、近隣の方々への協力等を図り入居者の安全第一をモットーに月1回の訓練を実施している。</p>	<p>消防署の協力の下に消火訓練、夜間想定も含めた避難訓練を年2回以上行っている。地域住民の参加や協力もある。また、非常時の食料や自火発電器等も準備している。居室入口に目印を掲示し確認できるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自立たずさりげない言葉掛けでトイレ誘導など行い、配慮している。また、プライバシー保護について勉強会など行い、職員に意識徹底している。	全職員が学習し、常に利用者の尊厳を大切に、誇りやプライバシーを損なわないよう、言葉かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一日の過ごし方も本人の思いや希望など自分で決められる場面をつくっている。意識表示が困難な方にも、声かけ表情などで、読み取ったりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に合わせた過し方で起床、食事時間も利用者のペースにそって行い本人の気持ちを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えなど本人の意向で決め、行事や外出時には、口紅などでおしゃれをしている。自己決定ができない利用者にも以前好んで着ていた服などでおしゃれを楽しんでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	小鉢やフルーツの盛り付け、野菜の皮むきなど手伝ってもらっている。一人ひとりの嗜好物を把握し、提供しながら楽しく食事ができるよう雰囲気づくりしている。	入居者の好みを把握して献立をつくり、調理の準備や後片付けなどを職員と一緒にしている。同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はチェック表に記録して状態に変化がないか把握している。また栄養士が食事の献立をし、職員が量や嗜好など利用者に状態に合わせた支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけをし、介助の必要な方には介助しながら口腔ケアしている。就寝前には、義歯の浸け置き洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し時間で排泄の声かけやトイレ誘導を行っている。日中は、布パンに着替え尿取りを使用するようにしている。	職員は入居者一人ひとりの排泄パターンを把握しており、トイレ誘導をさりげなく行っている。日中を中心に排泄の自立に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食材に繊維質の多いものや、また乳製品を取り入れて、散歩や体操など運動を促すことで、自然排便できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の声かけをし、職員が一方的に決めず、その日の希望や状態に合わせて職員の見守り、介助にて、会話しながら楽しく入浴して頂いている。	入居者一人ひとりの希望を聞いたり、健康状態により入浴を支援している。入浴を拒む人には言葉かけの工夫をしたり、気持ちに合わせた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態にあわせて、日中の昼寝やホールソファにて休息されたり、20時には水分補給の牛乳やテレビ観賞また、職員との会話で安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬状を各個人ケース記録に綴じ内容、用量を申し送り職員が把握するようにしている。また、服薬時には利用者の名前、日付を必ず確認し手渡しや介助にて服薬されている。症状の変化がある時には主治医に相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の盛り付けや洗濯たたみ、居室の掃除などできることはして頂いている。季節の行事で、外出や外食など取り入れおやつも好きな物を食べて頂き楽しみや気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩など希望にそって、職員と一緒に外に出たりしている。遠くの場所への外出は家族の協力を依頼したり、行事で計画を立て全員で出かけられるよう取り組んでいる。	日常的な散歩や近くのスーパーマーケットへの買物・ドライブを兼ねた自宅訪問・外食・地域行事への参加など、できるだけ戸外へ出るようにしている。また、遠出の場合は、家族の協力を得ながら支援している。車椅子の利用者も出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族、利用者の希望で少量のお金を持っている人も、事業所が預かり管理している人でも、販売に来るパンや果物を職員と一緒に買い物ができるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は入口のカウンターに設置し家族に電話されたい時には掛けてもらっている。手紙は、必要な時に代筆している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾り、水槽や飾り物などで季節感を取り入れている。また、テレビを観ない時には、やさしい音楽を流し、天窓から外の光が差し込み換気にも気を配り居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>季節感を感じ取られるように、草花が飾られ、ホールの天窓からはほどよい光が差し込み、心地よい音楽が流れている。入居者が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内にソファを置き、利用者同士で会話を楽しんだり、マッサージ機に座り、独りで過ごされたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや椅子、テレビなど自宅で使用されていたものを持ってこられ、家族の写真や小物など居室に飾り、自宅と同じように安心して暮らせるようにしている。	自宅で使用していた家具類が持ち込まれて、また、家族の写真等が飾られ温かい。居心地の良い居室である。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	テーブル椅子には、本人がわかるよう名前を貼ったり、居室ののれんや入口の絵で、自宅がわかるよう工夫している。また、トイレの手すりなど安全に自立してできるようにしている。			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない